ほけんだより　12月号



No.9　令和８年12月

鈴鹿市立保育所

～予防接種について～

予防接種は、ワクチンの接種により、あらかじめその病気に対する免疫を獲得させ、感染症が発生した場合に病気にかかる可能性を減らしたり、重症化しにくくしたりするものです。

多くの人が予防接種を受けることにより社会全体からその感染症が減り、結果的に予防接種を受けられない人たちも感染症から守られることになります。

～空気感染する水痘（水ぼうそう）と麻疹（はしか）について～

●どちらも非常に感染力が強く、空気感染、飛沫感染、接触感染します。

【空気感染】空気中に漂うウイルスを吸い込むだけで感染します。

【飛沫感染】咳や会話のときに飛び出るしぶきを吸い込んで感染します。

【接触感染】皮膚やおもちゃなどについたウイルスに触れて吸い込むことで感染します。



●一般的なマスクや手洗いでは予防ができません。**予防接種が最も有効な予防法**と言えます。

水痘（水ぼうそう）

２回の接種で94%かかるリスクを減らします

≪標準的なワクチン接種期間≫　１回目：生後１２～１５か月未満

２回目：１回目終了後、６～１２か月の間隔をおく

≪潜伏期間と感染させやすい時期≫

潜伏期間は 14～16日です。発疹がでる１～２日前から、発疹がかさぶたになるまでの間が感染しやすく、全ての皮疹がかさぶたになるまで感染力があります。

≪症状≫



発熱



発疹

①赤い発疹（紅斑）

➡②米粒大の盛り上がった発疹（丘疹）

➡③水ぶくれ（水疱）

➡④膿を持った発疹（膿疱）

➡⑤かさぶた（痂皮）

の順に変化し、これらの皮疹が混在します。

●発疹は、体の全ての場所にできます。特に、髪の毛の生えている頭皮にもできることが特徴です。

●水痘にかかると、免疫が低下したときに帯状疱疹になることがあります。

●重症化すると小脳炎（小脳の炎症）を合併することがあります。うまく歩けずふらつく、座ることができないなどの症状がでた場合は受診してください。

●免疫の弱いお子さんがかかると重症化し、生命に関わることがあります。

麻疹（はしか）

2回の接種で約99%の人が
免疫を獲得します

≪標準的なMRワクチン接種期間≫　１回目：生後１２～２４か月未満
２回目：小学校就学前の１年間（５歳児クラス）

≪潜伏期間と感染させやすい時期≫
潜伏期間は 8～12日です。発病する前日から解熱後3日を経過するまでは周りの人に感染させる可能性があります。

≪症状≫

初期症状


発熱


咳


鼻水


目やに、充血

一旦熱が下がったあと


39度以上の高熱


口の中の白いブツブツ
（コプリック斑）


全身の発疹

●免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。

●肺炎、中耳炎を合併しやすく、1000人に１人程度の割合で脳炎が発症します。死亡する割合も、先進国であっても1000人に１人と言われています。

●麻疹に感染してから数年～１０年程度たって発症することがある亜急性硬化性全脳炎（ＳＳＰＥ）は極めて重篤な病気です。数か月から数年かけて神経症状が進行し、知能や運動の障害がみられ、最終的に寝たきりの状態になり、生命にも関わることがあります。

予防接種法に基づく定期接種は、病気ごとに定められた接種期間があります。
忘れずに接種するようにしましょう。



参考：公益社団法人　日本小児科学会　「知っておきたいわくちん情報」
保育所における感染症対策ガイドライン
厚生労働省　予防接種・ワクチン情報
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/index.html